

ちよつとそしぎやで

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



田村家の庭には、大根やトマト、キャベツなど多種類の野菜が栽培されています



ベランダには数種類の花が育てられています



栽培する野菜は種から育てるそうです

2年前にスタートした「わがまち散歩」の最初の号で歩いた寺迫地区へ再び。あの時の懐かしい顔ぶれに再会し、「もう、そぎやんたったかいかいね」と笑顔を交わしました。今回は、さらに東へ進んだ下寺中灰塚まで足を延ばしてみました。

自宅の庭で家庭菜園

さわやかな緑風渡る5月。秋津川沿いの桜並木もすっかりと新緑が芽吹き、朝夕の散歩にはうつつの季節到来です。澄んだ青空の中に飛行機雲を見つけると、どこかへ旅に出たい気分からかれますが、とりあえず、わが町を散歩しながら、プチ旅気分を味わうこととしましょう。

今回の散歩の最初は、のどかな田園が広がる寺迫地区に暮らす、田村達士さんと順子さん夫婦を訪ねました。田村さんの家は益城中央小の近くにあり、子どもたちの

元気な声が聞こえてきます。

達士さんの趣味は家庭菜園。自宅の敷地内にトマト、ナスビ、ピーマン、キャベツなどなど、一年を通して多種類の野菜を育てています。「知り合いにあげるとが半分、家で食べるとが半分ですたい」と笑う達士さん。隣で妻の順子さんは、「おかげさまで、野菜に困ったことはありません。食べる分だけ時期を分けて栽培してくれるので、助かります」とほがらかな笑顔を見せます。

田村家の庭には他にも、いろいろな花々が育っています。「これくらいいろいろな花が咲くのが楽しみ」と順子さんが庭を眺めて目を細めます。日々、土と親しみながら、心豊かな老後を送るお二人の姿は、私たち後輩のお手本です。

寺迫のおかんのんさん

寺迫交差点から東に少し進んだ県道熊本高森線沿いに「第十六番札所寺迫観音堂」があります。4月6日に地区の人たちによる、観音祭りが行われていました。

その日はあいにくの雨でしたが、代々お堂近くで観音様を見守ってきた軸丸雅子さんの実家で、地区の人たちが集まりごちそうを持ち寄っていました。「幼い頃から



今が旬のスナップエンドウを収穫する田村さん夫婦